



鵜泊港に寄港した豪華クルーズ客船「飛鳥II」



歓迎セレモニーから



シーホースプール(11デッキ)



海に面したレストラン(11デッキ)



イベント練習中(6デッキ)

議会だより



第2回定例会	● 予算審議 平成23年度利尻富士町一般会計補正予算など 2～3
	● 行政報告 東日本大震災に係る被災地への職員派遣等についてなど 4
	● 委員会レポート 鵜泊港上架施設・鬼脇港区上架施設 現況調査など 5
臨時会 第2回	● 工事請負契約 恵比寿橋改修工事請負契約についてなど 5

平成23年 8 月

NO 152

第2回定例会

●会 期 6月22日
●出席議員 9名

第2回定例会は、町長提案の専決処分、各会計補正予算、条例の一部改正など8件の議案が提案され原案どおり承認、可決しました。

【追加した主な事業】

緊急雇用創出推進事業（海岸清掃）	417万9千円
北海道消費者行政活性化事業	150万円
東日本大震災義援金	100万円
本泊小閉校記念事業協賛会補助金	50万円
鷺泊港維持補修工事	140万円
バリアフリー対応旅客施設工事	1億8千755万5千円
鷺泊港フェリーターミナル解体工事	6千830万円

補正予算

平成23年度一般会計補正予算は、1千116万7千円を追加し、総額は4億4千816万7千円となりました。補正の主な内容は、緊急雇用創出推進事業費、北海道消費者行政活性化事業費、港湾整備事業特別会計繰出金の追加などです。

また、平成23年度港湾整備事業特別会計補正予算は、バリアフリー対応旅客施設工事費、鷺泊港フェリーターミナル解体工事など、2億6千488万6千円を追加し、総額3億1千687万6千円となりました。

質疑

●俵谷議員 社会教育費、映画鑑賞事業の内容は？

▲教育委員会次長 手塚治虫原作の「ブッダ」が映画化され、Tジョイ稚内で上映されていますので、児童生徒や一般の方々にも鑑賞の機会を与えたいということから、1枚1千円で250枚を要望によって配付します。

●児童生徒について、学校引率という形を検討されたのかどうか？

▲教育委員会次長 5月28日から稚内で上映されており、各学校が年間行事

を組んでおりますので、学校引率については実施できませんでした。

●黒川議員 財産管理費、土地測量委託に関連して、旧プールの財産売買契約の経過状況は？

▲産業建設課長 6月1日に土地、建物の売買契約を終了しています。

●藤井議員 東日本大震災に関連して、地震による津波対策では町の防災計画の見直しが必要では？

▲総務課長 防災体制の緊急点検を6月9日に実施し、町内全域の避難路の状況、一時避難場所の状況、誘導表示板の状況等の調査・点検を行いました。今後は、地域の方々と相談しながら地震、津波に対する総合的な避難計画の見直しを進めます。

●藤井議員 東日本大震災の支援・援助として、交流都市宣言をしている会津若松市に対する特別な援助計画は？

▲総務課長 会津若松市に対しての支援等は今のところ

考えておりません。今回補正します義援金を、日本赤十字社を通じて東北3県で使って頂ければと考えています。

●藤井議員 地震・津波による原子力発電所の事故により、発生した放射性物質が給食材料に及ぼす影響と対応について、国や北海道からの指導は？

▲教育委員会次長 現在のところ食材の調達等について指導はきておりません。北海道学校給食会等を通じて、万全な学校給食を提供できるよう努めています。

●藤井議員 鬼脇保育所、利尻小学校、鬼脇中学校の合同運動会で、音響システムの不備が見受けられたがその対応は？

▲教育委員会次長 原因は、放送設備とスピーカーを繋ぐ配線の接続不良という単純なミスでありましたので、今後は、事前点検を十分に行うなど万全を期すよう指導します。

◎俵谷議員 フェリーターミナル建設の総体事業費、事業年度は？

△町長 事業年度は、23年度から25年度の3ヶ年継続事業です。全体的な事業費については、外溝工事含めて10億円を計画しています。国の補助金は3年間に分けて交付されます。フェリーターミナルについては、補助対象外の施設、仮ターミナルを含めて現在設計の段階です。

条例改正

▽利尻富士町税賦課徴収条例の一部改正

〔改正内容は〕

東日本大震災による住宅や家財等に係る損失の雑損控除について、平成23年度住民税での適用を可能とし、控除しきれない損失額について、繰越期間を3年から5年に延長する。住宅借入金等特別税額控除の適用を受けていた住宅が、東日本大震災により居住することができなくなった場合においても、控除対象期間の残り期間について、引き続き

税額控除を適用します。
(原案可決)

▽利尻富士町国民健康保険条例の一部改正

〔改正内容は〕

平成21年10月から平成23年3月までの間、暫定的に引き上げた出産一時金の支給額「35万円」を、平成23年4月から「39万円」に恒久化する。
(原案可決)

▽利尻富士町国民健康保険条例の一部改正

〔改正内容は〕

地方税法施行令の一部改正に伴う限度額の改正で、
・基礎課税額の50万円を51万円に改正する。
・後期高齢者支援金等課税額の13万円を14万円に改正
・介護納付金課税額の20万円を12万円に改正する。

◎俵谷議員 収入予定額では滞納分を参酌し収入額を算定したのかどうか。また、過去3年間減税をしていますが、減税を取り止めた場合の国保加入者の負担と不足分の補填措置について見解を尋ねます。

△町長 平成22年度の国保加入者の所得が決まりましたので、これまでの徴収率を94%程度として1億百万円を収入予定額としています。また、滞納分は滞納繰越分として徴収に努力します。収入不足分の対策については、1回で処理することはありません。基金運用、一般会計からの補填も含めて段階的に数年かけて対応したい。
(原案可決)

その他

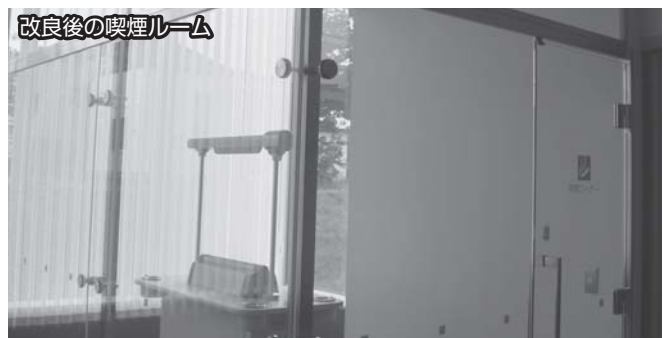
▽鴛泊・鬼脇辺地に係る総合整備計画の変更

〔変更内容は〕

鴛泊・鬼脇辺地での実施した事業費の変更及び実施する事業の追加による変更。

◎黒川議員 総合交流促進施設（りぷら）喫煙ルームの排煙処理の進捗状況は？

△総務課長 業者に発注し改良を進めています。予算は交付金事業費の中で対応します。
(原案可決)



改良後の喫煙ルーム

専決処分

▽町長が専決処分した、2千万円を追加し総額を5億548万8千円とする平成22年度一般会計補正予算（第7号）。および、1億2千339万3千円を追加し総額を52億2千888万1千円とする平成22年度一般会計補正予算（第8号）を原案のとおり承認しました。

関連質疑について

◎北海道議会での知事メッセージとして、離島を再生エネルギーで賄いたいという発言が、再生エネルギーというのとはただ発電するだけでなく、波及効果としてソーラーカーだとか色々な形で長期に亘り広がりがある公共事業になる可能性もありますので積極的に取り組むべきでは。

△北海道議会開会中の知事発言であり、正式にはおきていません。道議会が閉会となれば話が地元においてきて話を聞けると思いますので、その中で積極的に対応したい。

◎10月から就航するHACの運航体制の準備は？

△運輸を支援する無線関係の免許取得は終わっています。その他の業務についても10月1日の就航に向けて準備中です。また、施設関係や機器類については、ANAとHACで調整しているところとす。

行政報告

第2回定例会において、町長より「東日本大震災に係る被災地への職員派遣等について」ほか5件について行政報告がありました。

東日本大震災に係る被災地への職員派遣等について

支援物資のミネラルウォーターや消防職員の派遣は終了しております。一般職員の派遣は北海道町村会を通じて派遣の申し出を行っていましたが、被災地町村からの派遣要請673名に対して全国市町村合わせて2千600名を超える申し出があり、利尻富士町からの職員派遣は決定に至りませんでした。今後の対応では、介護施設の受入避難所、避難住宅の確保も申し出を行っています。義援金

については、個人的に送金されている方もおられますが、行政が把握している内容は、町内各自治会、個人募金箱等で募金を頂いた分として、日本赤十字利尻富士区分、北海道共同募金の合計と町の補正分100万円を合わせ、382万9千円の多額の義援金を被災地に送ることができました。



離島のガソリン価格の値引きについて

国の23年度予算において、離島ガソリン流通コスト支援事業として、離島の給油所等販売店でガソリンを販売した場合は、値引き販売に対する助成を行うことになっていきます。輸送形態区分によって輸送方法や輸送

距離を加味しながら助成するというところで、本町は10円あたり10円が販売店に助成されることから、町民の皆様には5月1日から10円が割引された価格で販売店から供給されていると思います。

利尻空港の利用状況について

3月は利尻く千歳間が408人、千歳く利尻間が513人の合計993人で搭乗率24%。平成22年度合計では、利尻く千歳間が1万2千931人、千歳く利尻間が1万3千657人の合計2万6千588人で搭乗率39.8%で、21年度との比較では2千668人の減、搭乗率は5.4%の減となっています。4月は利尻く千歳間が506人、千歳く利尻間が496人の合計1千2人で搭乗率25.1%。5月は利尻く千歳間が897人、千歳く利尻間が1千101人の合計1千980人で搭乗率47.8%となっています。

平成22年度一般会計ほか各特別会計の決算見込額につ

いて

一般会計は、継続費、繰明許費の21年度精算分を合わせて3千178万5千円が黒字となります。特別会計では、簡易水道事業特別会計49万8千円、下水道事業特別会計44万9千円、港湾整備事業特別会計17万5千円、温泉事業特別会計25万4千円、国民健康保険事業特別会計1千566万4千円、後期高齢者医療特別会計106万6千円、介護保険事業特別会計81万8千円、介護サービス特別会計19万7千円、歯科施設特別会計24万2千円、国民健康保険施設特別会計110万円の黒字となり、合計では5千225万3千円の黒字となり翌年度に繰越すこととなります。

(株)利尻島振興公社の決算見込みについて

利尻島振興公社の株主総会と取締役会が6月18日に開催され22年度決算が承認されました。営業収入は9千880万8千円、営業費用は1億55万5千円、税等47万1千円で差し引き221万8千円の赤字となりました。

したが、前年度繰越金が433万4千円ありましたので、翌年度繰越金は211万6千円となりました。

新朝日ふ化場の建設について

新朝日ふ化場については、6月6日付けで国の「産地水産業強化支援事業補助金」の交付候補者として選定されました。この補助金は、利尻富士町の予算を経由して「宗谷管内さけ・ます増殖事業協会」に助成するもので、事業費は3億6千万円で国庫補助が1億700万円、北海道さけ・ます増殖事業協会が5千700万円を負担し、残額の1億9千540万円は宗谷管内さけ・ます増殖事業協会が賄うものであり、本町の負担が生じるものではありません。本町に整備するふ化場は650万尾の規模でありまして、この施設の完成により日本海北部のさけ増殖事業に貢献できるとともに、利礼海域におけるさけ特別採捕枠の拡大に繋がります。本町のさけ特別採捕許可船のメリットも大きいものと期待しています。

委員会レポート

5月27日 総務民教産建常任委員会

常任委員会では、議会閉会中継続調査として、鷺泊港上架施設外3件の現況調査と政府が検討している「新たな高齢者医療制度」について調査しました。調査報告は次のとおりです。

- 1 鷺泊港上架施設・鬼脇港区上架施設現況調査
施設の定期的な保守・点検により適切な管理運営に努められたい。
- 2 ペシ岬遊歩道現況調査
特記事項なし。
- 3 りっぷ館展示状況現況調査
発掘された文化財の展示を広く周知すべきであり、来館者への周知・誘導を図



ることから、館周辺及び館内での展示室までの誘導案内板等の設置の必要がある。また、文化財展示ケースの転倒防止策を講ずる必要がある。

4 政府が検討している「新たな高齢者医療制度」に関する調査
「新たな高齢者医療制度」については、制度案の改変等今後の政府の動向を注視したい。

※調査した制度案の内容については、今後の「議会だより」を通して町民の皆様にお知らせします。

第2回臨時会

【7月11日 出席議員9名】

補正予算と工事請負契約を可決

平成23年度一般会計補正予算（第2号）は、595万3千円を追加し、総額を41億5千412万円となりました。補正の主な内容は公有財産購入費（不動産購入）の追加などです。

工事請負契約

- ▽恵比寿橋改修工事請負契約について
 - ◎契約方法 指名競争入札
 - ◎契約金額 8千820万円
 - ◎契約の相手方 株式会社 中田組
代表取締役社長 中田 伸也
- ◎藤井議員 幅員6mの設計ですが、車両と人を分離したラインにより交通安全に配慮したものとなって

いるのかどうか。また、欄干については景観に配慮した観光に資する欄干かどうか？

- ◎藤井議員 更衣室設置の検討をされたのか。また、外来種対策は？
- ◎藤井議員 更衣室は検討しましたが設置していません。汗を流せる程度ということから、シャワーユニット、脱衣室を設置して
- ◎産業建設課長 1mを歩道部分としてラインを引きます。欄干については、景観上特別な配慮はしていません。一般的な欄干です。
- ◎欄干の高さは安全面に考慮されているか？
- ◎産業建設課長 材質はアルミ製を予定しており、高さも1mを少し超える高さになります。
- ◎北麓野営場整備工事（管理棟）請負契約について
- ◎契約方法 随意契約
- ◎契約金額 5千565万円
- ◎契約の相手方 株式会社 雨森組
代表取締役 浜塚 憲

います。外来種については、排水処理ができる靴洗いを設置します。

- ◎依谷議員 随意契約に入らざるを得なかった経緯は？
- ◎産業建設課長 入札回数は2回までとして実施しています。2回で落札に至りませんでしたので、最低入札者から見積書を聴取し設計金額と突き合わせを行い、話し合いがまとまり随意契約に至りました。
- ◎副町長 入札額が予定価格に達せず不調の場合は、業者をすべて総入れ替えし再度入札を行うか、一部設計の内容を変更して再度同じ業者で入札を行うかの方法がありますが、今回は、地元発注ということから地元業者を最優先にするということ、最低入札した業者の見積書と予定価格の設計書を照らし合わせた結果、折り合いがつき随意契約に至りました。また、設計単価は補助事業ですので道単価を使っていますし、道単価にないものは実勢単価を使っています。

（原案可決）

6月

- 17日 議会運営委員会
- 19日 駕泊保育所運動会
- 22日 第2回定例町議会
- 30日 宗谷管内町村議会事務局総会並びに研修会（枝幸町、局長）

7月

- 5日 北海道町村議会議員研修会（札幌市、正副議長外議員、事務局）
- 11日 第2回臨時町議会
- 12日 山口県萩市議会行政視察
- 14日 愛媛県西条市議会行政視察
- 22日 全国離島振興市町村議会議長会理事会・総会（東京都議長）
- 28日 第4回広報委員会
- 29日 第3回総務民教産建常任委員会
- 同日 第1回利尻富士町議会議会改革調査・検討特別委員会
- 31日 第39回鬼脇地区北海島まつり、海上交通安全並びに大漁祈願祭（議長外各議員）

【長岡議長副会長に再任】

平成23年7月22日、東京都で開催された全国離島振興市町村議会議長会理事会・総会において、北海道離島振興市町村議会議長会会長である長岡議長が、満場一致で副会長に再任されました。



『議会改革調査・検討特別委員会の設置を決議』

地方分権改革の推進により、議会の責任がさらに増し果たすべき役割が大きくなり、議会機能の充実の必要性が指摘される中で、議会がその機能を発揮し住民の付託に応えるため、議会の活性化を図る必要があります。

利尻富士町議会においても、住民からの「議会・議員の活動が見えない」という意見の中で、議事運営のあり方、議会広報のあり方などが課題とされてきましたが、「議会の活性化に資する議会改革について」の議長提言により、議会運営委員会での協議の結果、議会改革の調査・検討を行う組織の必要性が確認され、第2回定例会に「議員発議」として、議会改革調査・検討特別委員会設置の決議が提案され満場一致で可決されました。

特別委員会は、議長を除く全議員を委員とし、委員長に俵谷芳光副議長、副委員長に伊藤信勝議員を選任しました。

今後は、随時開催される特別委員会において、議会活性化に資する議会改革の具体的な内容について議論を進めます。

編集後記

東日本大震災に起因した原発事故は日本のエネルギー政策の見直しを余儀なくしている。一旦事故が発生すると、その影響は広範囲に及び、動植物を問わずすべての物に被害をおよぼし、その収束までは人間の一生をはるかに超える膨大な時間を要する。この危険な物を次世代に残すべきでないとの国民世論が高まっているが、一方、経済活動や、生活レベルの維持を考えると安全性を担保として運転すべきとの意見も当然の事として出ている。

ただ、種々理屈は並べているが、これらのほとんどは推進派でやってきた人達のようには思われる。やらせメールや、やらせ発言等、電力会社と一体となって推進してきた人達、もつと言えば仕事や選挙でお世話になってきた人達の発言であり、用意周到に企まれていた事が明らかにされている。私達は権力側の発する情報をしっかりと見極める知識を身に付けなければ、ただ情報に踊らされるだけとなる。暑い夏の夜の納涼は望むところであるが、もつと背筋の寒くなるような事が世の中平気で行われている。

議会広報委員会

- 委員長 藤井孝二郎
- 副委員長 戸嶋 郁夫
- 委員 前田 芳久
- 委員 黒川 健一